

回避策の設定方法(Microsoft 社ページの記載内容抜粋)

①「インターネットおよびローカル イン트라ネット セキュリティ ゾーンの設定を「高」にする」

インターネットおよびローカル イン트라ネット セキュリティ ゾーンの設定を「高」に設定し、これらのゾーンで ActiveX コントロールおよびアクティブスクリプトをブロックする。

インターネット セキュリティ ゾーンの設定を変更し、ActiveX コントロールおよびアクティブスクリプトをブロックすることは、この脆弱性の悪用を防ぐのに役立ちます。これには、ブラウザのセキュリティ設定を「高」に設定して実行します。

Internet Explorer のブラウザのセキュリティレベルを上げるには、以下のステップを実行してください。

1. Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリックします。
2. [インターネットオプション] ダイアログボックスで、[セキュリティ] タブをクリックし、次に [インターネット] をクリックします。
3. [このゾーンのセキュリティのレベル] の下のスライダのつまみを「高」まで移動させます。これにより、訪問するすべての Web サイトのセキュリティレベルが「高」に設定されます。
4. [ローカル イン트라ネット] をクリックします。
5. [このゾーンのセキュリティのレベル] の下のスライダのつまみを「高」まで移動させます。これにより、訪問するすべての Web サイトのセキュリティレベルが「高」に設定されます。
6. [OK] をクリックし、変更を許可し、Internet Explorer に戻ります。

注: スライダーが表示されていない場合は、[規定のレベル] をクリックし、次にスライダーを「高」に移動させます。

注: セキュリティレベルを「高」に設定すると、Web ページが正しく動作しない場合があります。この設定の変更後、Web サイトの使用が困難になり、そのサイトが安全だと確認できない場合は、そのサイトを「信頼済みサイト」に追加できます。これにより、セキュリティが「高」に設定されていても、そのサイトが適切に実行されます。

②信頼する Web サイトを Internet Explorer の信頼済みサイト ゾーンに追加する

インターネット ゾーンおよびローカル イン트라ネット ゾーンで ActiveX コントロールおよびアクティブスクリプトをブロックするように設定後、信頼する Web サイトを Internet Explorer の信頼済みサイトゾーンに追加できます。これにより、信頼されていない Web サイトからの攻撃を防ぎながら、現在とまったく同じ様に、信頼する Web サイトを引き続き使用できます。マイクロソフトは信頼できる Web サイトのみを [信頼済み] サイト ゾーンに追加することを推奨します。

これを行うためには、次のステップを実行します。

1. Internet Explorer の [ツール] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。次に [セキュリティ] のタブをクリックします。
2. [Web コンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[信頼済みサイト] をクリックし、次に [サイト] をクリックします。
3. [次の Web サイトをゾーンに追加する] で、信頼する Web サイト (※) の URL を入力し、次に [追加] ボタンをクリックします。

信頼済みサイトとして、以下の URL を登録します。

たいこうオフィス e-バンキング

<https://www.suitebank3.finemax.net>

たいこう e-バンキング B I Z

<https://fb01.ib-channel.net>

でんさいサービス

<https://densai.finemax.net>

4. ゾーンに追加したい各 Web サイトについて、これらのステップを繰り返します。
5. [OK] を 2 回クリックし、変更を許可し、Internet Explorer に戻ります。

③Adobe Flash Player のプラグインを無効化する

1. Internet Explorer の [ツール] をクリックし、[インターネットオプション] をクリックします。
2. [プログラム] のタブをクリックし、[アドオン] の管理をクリックします。
3. ShockWave Flash Object を無効にします。

以上